

○福山哲郎君 これは、我が国は、今ここで言われている橋ですとか道路ですとか高速道路ですとか、効率的に、しかも交通を遮断せずに安全に早く安く造る技術という意味では世界最高水準を行っております。また、以前より、総理も何回も売り込んでいただいているように、リニアとか新幹線の話もあり、この辺を石井国土交通大臣に是非戦略、抱負をお願いしたいと思います。

○国土大臣(石井啓一君) 米国につきまして、国土交通省では、これまでカリフォルニアやテキサスでの高速鉄道、ワシントンDCからボルティモアを結ぶリニア鉄道構想を始め、航空、自動車、道路といった幅広い分野において良好な協力関係を築いてまいりました。

我が国のインフラ技術は、今御紹介いただいたように環境負荷の小ささや実績に裏付けされた高度な安全性、災害に対する強靱性等に優れており、また我が国の建設事業者はインフラを運用しながら工事を実施する等の高度な技術を持っております。さらに、米国では既存インフラの維持管理や補修が大きなテーマになっているものと承知をしております、メンテナンス面での知見を蓄積している我が国の優れた技術が米国のインフラ整備においても大きく貢献できる可能性があると考えております。

今後、米国において打ち出されるインフラに関する具体的な政策を見守りつつ、チャオ次期運輸長官との間におきましても引き続き良好な関係を築き、我が国の質の高いインフラの海外展開に取り組んでまいりたいと考えております。